

An assimilated dataset for Earth science applications, Bull. Amer. Meteor. Soc., 74, 2331-2342.

Simmons A. J. and J. K. Gibson, 2000: The ERA-40 project plan, ERA40 Project Report Series 1. ([http://wms.ecmwf.int/research/era/Era-40\\_ReportSeries.html](http://wms.ecmwf.int/research/era/Era-40_ReportSeries.html))

Trenberth K. E., D. P. Stepaniak, J. W. Hurrell and M. Fiorino, 2001: Quality of reanalyses in the tropics, J. Climate, 14, 1499-1510.

露木 義, 1999: データ同化と初期値敏感性, 天気, 46, 179-184.

## 東アジアにおけるメソ対流系と豪雨・豪雪に関する国際会議 (東京, 2002年10月29~31日) への投稿の呼びかけ

科学技術振興事業団と中国気象科学院の共催で、「東アジアにおけるメソ対流系と豪雨・豪雪に関する国際会議」を2002年10月29~31日に東京・品川のコクヨホールにて開催します。この会議は気象庁と日本気象学会とアメリカ気象学会の後援を受けています。

この会議は、東アジア域におけるメソ対流系と豪雨・豪雪を理解して予測しようというものです。ここでは、(1) 豪雨・豪雪のメソスケール過程、(2) モンスーン、梅雨前線、冬の擾乱などに伴うメソ対流系、(3) 山岳性豪雨・豪雪、(4) 降水の量評価や予測に関する技術などが主なテーマとなります。しかし、広くメソスケール現象に関連する問題も取り上げる予定ですので、奮って投稿をお願いします。発表は口頭とポスターがあります。

### 予 定:

(1) 英語で書かれた題目と要旨(1ページ)と著者のe-mailアドレスを、2002年5月31日まで気象研究所・加藤輝之(プログラム委員会)に郵便あるいはe-mailで [mcs\\_conf@mri-jma.go.jp](mailto:mcs_conf@mri-jma.go.jp) に送ってください。プログラム委員会が審査して採否を決めます。

(2) 採否および発表方法(口頭 or ポスター)の連絡は2002年7月30日までにe-mailで行います。

(3) 印刷原稿の締め切りは2002年9月10日です(必着)。予稿集とCDを作り、会議場の受付にてすべての参加者に渡します。投稿や印刷に関しては無料です。

\* 予稿集: 採用されたすべての発表者は、(A4サイズで6ページ以内の)図、写真、表を含む原稿をプログラム委員会に送ってください。予稿集は白黒で印刷します。原稿の書き方については後日連絡します。

\* CD: MS WORDあるいはPDFのカラー図を用いた原稿を持つ発表者は、そのファイルをFDかCDでプログラム委員会宛に送ってください。

より詳しい情報は、加藤輝之(〒305-0052 つくば市長峰1-1, 気象研究所予報研究部 Tel: 0298-53-8636, Fax: 0298-53-8649, e-mail: [tkato@mri-jma.go.jp](mailto:tkato@mri-jma.go.jp))に問い合わせるか、あるいはホームページ <http://www1.newweb.ne.jp/wb/crest-mcs/conf.html> をご覧ください。